

地域医療支援病院業務報告書

1. 概要

病院名	フリガナ	トクリツギョウセイケンコウケンキョウ カサロウサ化ョウイン
		独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院
所在地		兵庫県尼崎市稲葉荘3丁目1番69号
開設者		独立行政法人労働者健康安全機構理事長 有賀 徹
代表者氏名		院長 林 紀夫
承認年月日		平成21年12月16日

2. 業務報告

対象期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
------	----------------------

◇紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	紹介率65%以上かつ逆紹介率40%以上	
紹介率	A/B	79.7%
※患者数は延べ人数	A：紹介患者の数	12,450人
	B：初診患者の数	15,612人
逆紹介率	C/B	96.8%
※患者数は延べ人数	C：逆紹介患者の数	15,127人

◇共同利用の実績

医療機関延べ数 (うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数)	1,189機関 (1,189機関)
共同利用病床数	5床
共同利用病床利用率	0.0%
共同利用の範囲	当該病院の施設・設備の一部
共同利用施設・設備	<p>建物の一部 (病床、会議室、カンファレンス室、診療情報管理室、 図書室、医薬品情報室)</p> <p>医療機器 (CT、MRI、ガンマカメラ、呼吸機能検査装置、透視装置)</p>
登録医療機関数	497機関
共同利用に関する規定の有無	有

◇救急医療の提供の実績

優先的に使用できる病床	18床
専用病床	30床

救急用又は患者輸送用自動車により搬入した救急患者	6,805人	(3,445人)
上記以外の救急患者	2,856人	(744人)
合計	9,661人	(4,189人)

※延べ人数。括弧内は、うち入院を要した患者数

救急用又は患者輸送用自動車	2台
---------------	----

◇地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

研修の内容	<p>①阪神がんカンファレンス（4回／年） 症例検討、最新治療、化学療法・放射線治療の副作用・緩和ケア（ペインクリニック含む）に係るショートレクチャー。 ②エキスパートナースセミナー（3回／年） 認定看護師による各ナーシング技術の講習 ③看護連携の会（2回／年） 看護連携（地域連携）に係る情報共有、各種問題の解決、ワークショップ ④阪神圏域地域連携セミナー（1回／年） 兵庫県立尼崎総合医療センター、兵庫県立西宮病院、関西労災病院が共同で、圏域内の地域医療連携を発展させ医療資源の充実を図るために必要な知識の習得、その他を目的として、講演、パネルディスカッションを実施。 ⑤がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会（1回／年・・・2日間） 標準プログラムに準拠した単位型研修会（PEACE） ⑥がん患者地域連携のための多職種カンファレンス（3回／年） 複数の医療機関の多職種が集まり、緩和ケアを中心としたがん診療に係る問題点の解決を図る。 ⑦感染カンファレンス（4回／年） 院内感染防止対策を推進することを目的とする。 ⑧関労クラブ総会における研修会（1回／年） 勤労者の疾病関連をテーマとした研修会。（日医産業医、生涯教育単位付与） ⑨阪神救急疾患カンファレンス（2回／年）腹部疾患、脳卒中疾患に特化した圏域内の医師を中心とした勉強会 ⑩阪神圏域の脳神経外科疾患の地域連携を考える会（2～4回／年）脳卒中、てんかん、脳腫瘍に特化した勉強会 ⑪武庫川大腸がんセミナー（6回／年）大腸がんに関する集学的治療、最新治療についての勉強会 ⑫がん看護セミナー（2回／年）緩和ケアに関するケアを在宅看護中心に勉強する会 ⑬就労支援に関する研修会（2回／年）治療と就労の両立、治療後の就職に関する研修会を地域の多職種を対象に実施 ⑭その他研修プログラムに定めるもの。</p>	
研修の実績	地域の医療従事者への研修回数	21回
	合計研修者数（うち院外参加者）	767人（501人）
研修体制	研修プログラムの有無	有
	研修委員会の設置の有無	有
	研修指導者数	23人
研修施設	会議室 A	165.1㎡
	会議室 B	41.6㎡
	会議室 C	41.3㎡
	会議室 D	42.3㎡
	カンファレンス室 1	136.2㎡
	カンファレンス室 2	76.3㎡
	カンファレンス室 3	23.9㎡

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者	病院長 林 紀夫	
管理担当者	医療情報部長 伊藤 善基	
診療に関する諸記録の保管場所	診療情報管理室、電子カルテ内。 但し、病院日誌は総務課、診療科日誌は看護部、処方せんは薬剤部で管理。	
病院の管理及び運営に関する諸記録の保管場所	共同利用の実績	医事課
	救急医療の提供の実績	医事課
	地域医療従事者向け研修の実績	医事課
	閲覧実績	総務課
	紹介患者等の帳簿	医事課

◇診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	病院長 林 紀夫	
閲覧担当者	総務課長 松本 和訓	
閲覧の求めに応じる場所	総務課	
閲覧者別延べ件数	医師	0件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	1件
	その他	1件
	合計	2件

◇第九条の十九第一項に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回
----------	----

◇患者相談の実績

相談を行う場所	医療連携総合センター相談窓口・相談室・ その他（がんセンター内がん相談支援センター）
主たる相談対応者	専門看護師（がん看護）、退院調整看護師、社会福祉士、社会保険 労務士、医事課職員等 計10人
相談件数	859件
相談の概要	<p>1. 病気に関すること（がん相談を含む。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんやがん以外の疾患に関する症状や治療方法 ・手術やその後の経過、合併症、後遺症など ・治療の副作用や術後ケア等 ・がん患者のご家族に対するケア、本人への対応について ・症状に対する受診案内 ・セカンドオピニオンの説明や方法 <p>2. 在宅医療について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の訪問看護、自己ケアについて ・退院後の福祉サービスの受け方 ・緊急時の対応方法 <p>3. 緩和ケア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当院で提供できるサービス <p>4. 転院について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転院先や医療機関の紹介 ・通院困難、その他の理由によるかかりつけ医紹介 <p>5. 社会福祉制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険、生活保護受給の手続き ・特定疾患等公費申請の手続きについて <p>6. 医療費について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額医療費の現物給付制度 ・DPC制度に伴う医療費について ・産科医療保障制度について ・個別症例における入院費の概算について <p>7. 入院・外来診療、診療全般、その他に対する苦情対応</p> <p>8. 医療事故・医療安全にかかる相談</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併症等に対する不満・不安について <p>9. 療養後の就労に関する相談、治療中の職場との関係性について</p> <p>10. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検診関係、地域の医療機関の場所、院内の一般的な疑問、予防医療、院内のシステムに関すること。 <p>（対策等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院後の職場復帰等に関する相談については、毎月1度相談日を設け、社会保険労務士による対応を行っている。 ・転院に際して情報の不足を指摘されており、地域の医療機関の機能を記載したマップや冊子をがん相談支援センター等設置した。 ・治療中の患者さんと職場との情報共有をスムーズにするために専用の様式を作成。産業医との情報共有を図った。

◇その他地域医療支援病院に求められる取組み

病院機能第三者評価	有
役割に関する情報発信	有
退院調整部門	有
地域連携クリティカルパスの策定	有